

令和4年5月21日

令和4年度PTA総会挨拶

- 皆様、こんにちは。保護者の皆様方には、平素より本校の教育活動に対してご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。
- 今年度より飯田高等学校の校長として、高校教育課高校再編推進室より赴任してまいりました駒瀬隆です。よろしくお願いいたします。これまでの高校教員生活において南信州地域の勤務経験はなく、高校卒業以来41年ぶりの母校ということで、懐かしくもあり、多少の戸惑いも感じております。
- さて、新型コロナウイルス感染拡大のため、ここ2年間中止しておりましたPTA総会及び保護者対象の授業公開、3年ぶりの開催となりました。多くの保護者の皆様方にご出席、またご参観いただき、誠にありがとうございます。なお、新型コロナウイルスの感染防止のため、日程的にご不便をおかけしますが、ご理解いただきたいと思います。では、学校の状況にも触れながら、何点かお話をさせていただきます。
- まず、本校において様々な教育活動を行うにあたり、最も重視していることは、学校重点目標の最初にも掲げてありますが、「いのちと人権を尊重して、いじめや暴力を許さない人間を育てる」です。ご存じのとおり、本校では、平成4年1月に当時2年生の小野寺仁君が、上級生に刺殺されるという痛ましく、悲しい事件がありました。この事件のことを風化させないため、折に触れて生徒たちにも事件のことを伝えるとともに、生徒自治会も毎年「高松'92宣言」で規律ある“学窓”、“反暴力”を確認し、学校全体で「安心・安全な高校づくり」に取り組んでおります。
- 学校の詳しい状況、特に進路指導や生活指導につきましては、この後それぞれの主任からご説明させていただきますが、進路については、昨年度は難関国公立や医学部への進学等で一定の成果が出たと思います。今後とも地域から求められている役割や期待を果たせるよう、学習指導や進路指導の面で、しっかりと対応していきたいと思っております。この後の学年集会でも詳しい話があると思います。また、生徒指導においては、生徒は規範意識を持って、節度ある行動をし、落ち着いた高校生活を過ごしております。
- 運動班では、先週末にインターハイ南信大会や高野連春季県大会等が行われました。新型コロナウイルスの感染症防止を徹底しての開催となりました。本校生徒もこれまでの練習の成果を十分発揮することができたのではないかと思います。これを機に、引退する3年もおりますが、6月初旬の県大会等に出場する班の健闘を祈りたいと思います。
- 来月下旬開催の生徒自治会最大のイベントである「第67回高松祭」につきましては、生徒会の考えも踏まえて、お子さんが活動している班の発表を保護者の皆様方にも観ていただけるよう、昨年度より柔軟な開催を考えております。
- 新型コロナウイルス感染症につきましては、今年度に入り、学級閉鎖や学年閉鎖等の措置を取りましたが、授業動画配信やグーグル・クラスルーム等も用いての学習指示により、学びの継続に努めてまいりました。現在の状況につきましては、本校も含めて、南信州地域の高校は比較的落ち着いた状況です。

- また、すでにご承知のことかと思いますが、県内の感染状況を踏まえ、県教委から「学級閉鎖等の条件緩和について」の通知が発出されております。詳しくは、本日配付してある資料をご覧くださいと思いますが、これまでは、陽性者が1名出た場合は、学級閉鎖等の措置を取ってまいりましたが、今後は、陽性者が1名発生し、その生徒の最終登校日から5日を経過するまでに、2人目の陽性者が発生した場合は学級閉鎖等の措置を講ずる等に緩和されました。
- さて、今後の高校での学びのあり方ですが、これまで、日本の経済発展を支えるため、みんなと同じことができる「言われたことを言われたとおりにできる」上質で均質な労働者の育成が高度経済成長期までの要請として学校教育に求められてきた中で、『正解（知識）の暗記』の比重が大きくなり、『自ら課題を見つけ、それを解決する力』を育成するための、他者と協調し、自ら考え抜く学びが十分ではありませんでした。
- また、学校では「みんなで同じことができることを、同じように」を過度に要求する面が見られ、学校生活でも“同調圧力”を感じる子供が増えていたといわれています。言うなれば、これまでの学校教育では、自立した学習者を十分育てられなかったのではないかと思います。
- これからは、新型コロナウイルスの出現もそうですが、先の見通せない時代となります。また、AIやIoTなどの活用により、今後社会は大きく変わることでしょう。このような状況を踏まえると、これからは子どもたちを自立した学習者として育てることが我々の責務であると思います。
- そのため、本校においては、必要な知識技能を習得する学びは当然のこととして、それに加えて、「主体的・対話的で深い学び」を進めていきたいと思っております。本日の授業公開をご覧くださいのように、ICT機器やタブレット端末を使用した授業や、対話を取り入れた授業等もその一つの手段です。これだけ社会が多様化してきている中、高校の学びのあり方も大きく変わっていくことになるでしょう。
- さらに、このような動きを受け、大学の推薦入試でも学力を様々な面で計るとともに、生徒の主体性を評価する書類等の提出を求められるなど、大きな変化がみられ、また募集枠を拡大しています。
- この南信州地域は、2027年に開通が予定されているリニア中央新幹線により、県内で最も首都圏に近い地域となります。このような学びを通じて、本日配布してございます本校の3つの方針の中の「生徒育成方針」にもあります、「国内外で活躍しながら、地元地域の発展にさまざまなかたちで貢献する人」となるベースを醸成してまいりたいと思っております。
- 最後になりましたが、令和3年度のPTA会長である田中様をはじめ役員の皆様方におかれましては、コロナ禍で様々なPTA活動が制限される中大変なご苦労があったと思います。ありがとうございました。
- 以上、挨拶と代えさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。